

第〇学年 英語科学習指導案

令和〇年〇月〇〇日 () ○校時

指導者 職名 ○○ ○○

場 所 ○年 ○組 教室

1 単元名 「〇〇〇〇」

教科書名 単元名

例) 東京書籍 NEW HORIZON English Course 1
「Unit 8 A Surprise Party」

2 単元の目標

- 本単元を通して生徒に身に付けさせたい力を、学習指導要領の目標や指導内容と関連付けて具体的に記述する。(CAN-DO リストの視点から明確に設定しているか)
- 学習指導要領の内容から 5 領域に触れながら単元後の生徒の姿を何ができるようになるのかを具体的に書く。これまで観点を明記して書いていたが、これからは 3 つの観点は切り離して考えることが難しいため、1 つの文として書くことが考えられる。

例) 来年入学する小学生に、〇〇中学校の魅力を伝えるために、〇〇中学校についてまとまりのある内容の英語で話すことができる。

文末は「～できる」にします。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	〈知識〉 現在進行形や感嘆文の構造や意味を理解している。 〈技能〉 〇〇中学校の魅力などの日常的な話題について、現在進行形や感嘆文などの簡単な語句や文を話す技能を身に付けている。	来年入学する小学生に、〇〇中学校の魅力を口頭で紹介するため、〇〇中学校の魅力について事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。	来年入学する小学生に、〇〇中学校の魅力を口頭で紹介するため、〇〇中学校の魅力について事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料を参考に作成します。「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」については、文末の み異なる 形が基本になります。※ 単元の目標で示された内容を評価することに留意しましょう(この例では、話すこと [発表] で記録に残す評価を行います)。

- 生徒の姿がどのような学習状況となつていれば、単元の目標が達成できたと判断するのか、その拠りどころとなる規準を、年間計画に基づいて観点ごとに簡潔に記述する。
- 1 つの単元で、評価できるのは、5 領域の中で多くても 3 つくらいまでが現実的である。

4 単元について



(1) 題材観

例) 本単元では、登場人物の朝美、海斗、ジョシュアが友人のメグの誕生日にサプライズパーティーを計画する会話が題材として取り上げられている。言語材料としては、現在進行形の表現が多く用いられる。生徒は、身の回りの人や物について説明したり、自分の経験を述べたりするなど、様々な表現を試すことができる。

以上のことから、本単元では、日常的な話題について学ぶ力と、自分の経験を表現する力、また、他の人の意見を尊重する態度を育みたい。これは学習指導要領の「1 目標」の「話すこと〔発表〕」 イ「日常的な話題について、事実や自分の考え方、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようとする」に基づいています。

(2) 生徒観（生徒の実態）

例) 本学級の生徒は英語で自分を積極的に表現しようとする生徒が多い。英語の苦手な生徒もいるが、お互いに関わり合いつながら活動に取り組むことができる。今回の授業にあたってアンケートを実施したところ、「英語の勉強は好きですか」という質問に対し、肯定的な回答が 63.4%、「英語の勉強は大切だと思いますか」という質問に対しては、肯定的な回答が 85.6%であることから、英語の学習に対して前向きであることがわかる。授業中もお互いに英語を使ったやり取りに積極的に取り組んでいるが、単文のやり取りが多く、複数の文でまとまった内容を話す機会はこれまでの学習ではほとんどなかつた。

(3) 指導観

例) 上記のような題材観、生徒観に基づき、本単元においては、

- ① 生徒にとって、まとまった内容を話す必然性のある言語の使用場面を設定する。
- ② 帯活動で、終末の表現活動につながる語彙、表現等を繰り返し練習させて定着を図る。
- ③ 教科書本文等を活用し、単元終末の言語活動で活用できる語彙や表現について、1人1台端末を活用して記録し、共有することで、多様な表現から生徒が情報収集できるよう工夫する。

この単元の指導でのポイントをわかりやすく記入します。箇条書きにするなどして整理しましょう。

①について、「コミュニケーションの目的、場面、状況」を明確に設定する。本単元では、「来年入学する小学生に、○○中学校の魅力をスピーチで伝えよう」とした。本校には3つの小学校から生徒が入学することから、様々な児童に向けて○○中学校の魅力を伝えるには内容をどう工夫すればいいか、考えさせたい。なお、単元の終末ではGoogle Meetを活用して実際に小学生に対してスピーチを行わせる。

②について、最後のスピーチに関わる学校生活の様々な事柄について毎時間 Small Talk を行い、既習事項の定着を図る。

③について、単元前半の終末時に、教科書本文の語句や表現を使って「○○中学校の魅力を伝える文や単語」を1人1台端末でスプレッドシートに入力させ、共有させる。

5 研究テーマとの関わり ※不要の場合は省略

- ・ 研究テーマから見た単元における生徒の現状、本題材を通して、育てたい姿や指導上特に留意したいことを記述する。
- ・ 研究の視点と、視点からの具体的指導の手立てを記述する。

6 単元の指導計画・評価計画（全〇時間）

「ねらい」「主な学習活動」「指導上の留意点」「時数」「評価規準（評価の観点）」等について記述する。

時間	ねらい（■）・主な活動等（丸数字）	知	思	態	備考
1	<ul style="list-style-type: none"> ■単元の目標を理解する。 ■教科書の本文（S0, Pre）を参考に、〇〇中学校の魅力について説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ①自己目標を設定する ②Small Talk 「中学校でできることについて」 ③教科書で使われている未知の語や現在進行形の構造とを理解する。 ④共有フォルダ内の写真から数枚を選び、現在進行形を使って〇〇中学校の魅力について即興で説明し合う。 ⑤説明した文等を1人1台端末で入力する。 				<p>単元の指導について、どの時間でどんな指導をするか記入します。単元の終末で行う言語活動（実際に英語を使用して互いの考え方や気持ちを伝え合う活動）に向けて、バックワードデザインで設計します。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ■教科書の本文（S1）を参考に、〇〇中学校の魅力について説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ①Small Talk 「学校給食について」 ②教科書で使われている未知の語や現在進行形（肯定文）の構造と意味を理解する。 ③共有フォルダ内の写真から数枚を選び、現在進行形などを使って〇〇中学校の魅力について即興で説明し合う。 ④説明した文等を1人1台端末で入力する。 				<ul style="list-style-type: none"> ・単元末のパフォーマンステストに向け、「帯活動」で、身近な話題に関するSmall Talkを行わせ、表現を確認させる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ■教科書の本文（S2）を参考に、〇〇中学校の魅力について説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ①Small Talk 「学校行事について」 ②教科書で使われている未知の語や現在進行形（疑問文）の構造と意味を理解する。 ③共有フォルダ内の写真から数枚を選び、現在進行形などを使って〇〇中学校の魅力について即興で説明し合う。 ④説明した文等を1人1台端末で入力する。 				<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業では、学習の振り返りを適宜行わせる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ■教科書の本文（MA）を参考に、〇〇中学校の魅力について説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ①Small Talk 「部活動について」 ②現在進行形を使って、ジェスチャークイズを行う。 ③共有フォルダ内の写真から数枚を選び、〇〇中学校の魅力を伝えるスライドショーを作成する。 ④スライドショーで使いたい文等を1人1台端末で入力する。 				<ul style="list-style-type: none"> ・複数回練習している様子を、「知識・技能」の評価規準に照らして観察、後日実施するペーパーテストに向けて指導に生かす。
5	<ul style="list-style-type: none"> ■教科書の本文（S3）を参考に、〇〇中学校の魅力について説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ①Small Talk 「学校の様々な部屋について」 ②教科書で使われている未知の語や感嘆文の構造と意味を理解する。 ③作成した〇〇中学校の魅力を伝えるスライドショーを使って、スピーチの練習をする。 ④スライドショーで使いたい文等を1人1台端末で入力する。 				<ul style="list-style-type: none"> ・複数回練習している様子を、「知識・技能」の評価規準に照らして観察、後日実施するペーパーテストに向けて指導に生かす。
6	<ul style="list-style-type: none"> ■〇〇中学校の魅力について説明するスピーチの練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ①複数回、相手を替えて練習する。 ②質問したり、アドバイスをしたりしながら、スピーチの内容を工夫する。 				<ul style="list-style-type: none"> ・複数回練習している様子を、「知識・技能」の評価規準に照らして観察、後日実施するペーパーテストに向けて指導に生かす。

7 (本時)	<p>■○○中学校の魅力について説明するスピーチを発表する。</p> <p>①グループ毎に1人1台端末を1台使い、Google Meet を活用して小学生にスピーチを発表する。</p> <p>②自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。</p>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	パフォーマンステストで「話すこと(発表)」の評価を記録に残す
後日	ペーパーテストやワークシート	<input type="radio"/>			

本時については太枠で示すなどします。記録に残す学習評価については「十分に身に付いた」時点で行うのが基本です。したがって、単元末や後日パフォーマンステストで評価します。

7 本時の指導

(1) 本時のねらい

本時で、身に付けさせたい力と学習活動の具体を簡潔に記述する。題材目標との関連、指導計画の該当する時間との整合性にも留意する。

文末は「～できる」にします。

(2) ねらいに迫るための手立て

授業場面の「どこで」「どのような働き掛けを」「なぜ行うか」などについて具体的に記述する。

(3) 指導過程 (○時間／○○時間) (例)

時間	学習活動	◇ 指導上の留意事項 ◆ 「努力を要する」状況(C)と判断した生徒への手立て	評価 (方法) 準備物
導入 ○分	<p>1 Greeting</p> <p>2 Warm-up</p>	<p>◇英語の学習に入りやすいように元気に挨拶させる。</p> <p>◇ スライドで示した学校生活の写真について、その良いところを口頭で説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> TV, PC Chromebook

言語活動を中心に据えた指導を心掛けること。本事例では、単元の始めに自己目標を設定し、単元末に振り返りを行っています。自己評価シートの作成については、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料等を参考にするとよいでしょう。

展開 ○分	3 本時のめあてを確認する	○○中学校の魅力を小学生に伝えるスピーチをしよう。	
	4 自己紹介（1回目）	◇「まとまりのある内容で話す」「魅力を伝える」ことについて確認する。	3つの観点について一括して評価する。 (観察)
	5 スピーチ（1回目）	◇1人1台端末をグループに1台用意し、Google Meetで小学生と自己紹介をし合う。 ◇グループ毎にスピーチを行う。小学生からの質問がある場合は、答えさせる。	※1人1台端末のカメラ機能を使い、スピーチを記録することもできる。
	6 中間評価	◇活動を観察し、フィードバックを行う。	
	7 自己紹介（2回目）	◆これまで共有してきた語や表現を1人1台端末で再確認させる。 ◇別のグループの小学生と自己紹介をし合う。	
	8 スピーチ（2回目）	◇グループ毎にスピーチを行う。小学生からの質問がある場合は、答えさせる。中間評価を踏まえ、○○中学校の魅力をより伝えられるよう工夫させる。 ◆○○中学校の魅力をさらに伝えるために、話し方や話すスピード、文を話す順序を考える等の方法を紹介する。	
終末 ○分	9 振り返り	◇単元はじめに設定した自己目標が達成できたかを、自己評価シートに記入させる。	自己評価シートの分析

(4) 本時の評価→例1, 例2 (本時の見届けの視点→例3)

例1 この例は「C」の生徒に対しての手立てを本時の指導過程に示している場合

観点	評価規準（単元と同じ）	具体的な生徒の姿（B）
知識・技能	<p>〈知識〉 現在進行形や感嘆文の構造や意味を理解している。</p> <p>〈技能〉 ○○中学校の魅力など日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、現在進行形や感嘆文などの簡単な語句や文を用いて話す技能を身につけている。</p>	<p>(スライドショーを見せながら) Hello. Do you like sports? This is our school gym. How big! Many girls are playing basketball. I am a member of the basketball club. We practice hard and we are good friends. We love basketball.</p>
思考・判断・表現	来年入学する小学生に、○○中学校の魅力を伝えるスピーチをするために、○○中学校の魅力について事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。	<p>Thank you. Questions please. (その後、小学生とやり取りする) 評価基準等について</p> <p>※上記の発話例では、生徒が自分の所属するバスケット部とその魅力について5文程度の英文でスピーチしてい</p>

主体的に学習に取り組む態度	来年入学する小学生に、〇〇中学校の魅力を伝えるスピーチをするために、〇〇中学校の魅力について事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている。	る。このように、あるテーマについて5文程度で話すことを、「まとまりのある内容で話す」とことと判断する。また、「魅力を伝える」こととは、自分の気持ちや考えを伝えているかどうかで判断する。 ※現在進行形や感嘆文の使用が見られない場合には、第7時の活動の観察や後日実施するペーパーテスト、ワークシートにおける結果を加味する。 ※主体的に学習に取り組む態度に関しては、自己評価シートから学びを自己調整する様子が見られ、言語活動でそれが実際に態度となって現れていると判断する場合、評価情報とする。
---------------	---	---

例 2

本時の評価規準 (B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおむね満足できる」姿となる。「～している。」 ・ 本時のねらいとの整合性
「十分満足できる」と判断される生徒の状況 (A)	<ul style="list-style-type: none"> ・「おおむね満足できる」姿を実現した生徒が、さらに深まりのある学びを実現している姿を具体的に記入。(パフォーマンス例等を含めると良い) •
「努力を要する」状況と判断される生徒 (C) への手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導や支援の具体的な手立てを記述する。基礎・基本の確実な定着の観点から、支援を要する生徒への具体的な指導の手立てを記述する。授業のどの段階で、どのような支援を行うか具体的に書く。

例 3

本時の見届けの視点

記録に残す評価を行う場合は例1、例2のように記入する。記録に残す評価を行わない場合であっても、指導に生かすための評価を行うために生徒のパフォーマンス例などを記入することも考えられる。

例：

本時では記録に残す評価は行わないが、以下の点を見届けの視点として指導する。

「書くこと」の評価について

既習事項である〇〇〇などの使用の正確さや、相手意識のある内容を書くことができるかについて、後日実施するペーパーテストで評価し記録に残すため、本時のワークシートの記述内容を見取り、ペーパーテスト実施までの間に課題について継続的に指導を行う。

「話すこと（やり取り）」の評価について

本時では「話すこと（やり取り）」の評価は行わないが、後日実施されるパフォーマンステストにおいて目標を達成させるために、本時では〇〇〇〇のような活動を行い、その内容について聞き手とやり取りできることを目標にする。（パフォーマンス例を載せるなど）

(5) 板書計画

- ・ 本時のめあてや学習の手掛かり、生徒の学びの軌跡、本時のまとめや振り返りなど、生徒の学習の助けとなるように内容や構造を工夫する。

(6) その他

- ・ 座席表、ワークシート、授業に関連するものがあるときは添付する。

学習指導案の様式については、特に決められているものではありません。各校が授業改善を図るためにそれぞれの目的に応じて決めていきます。ここで示している学習指導案は、あくまでも参考のものであり、これらを参考にしながら各校で学習指導案の様式を決めていくことが必要です。